

## 目 次

はしがき

---

# 第 1 部 国際機構の成り立ちとしくみ

---

## 第 1 章 国際機構の歴史 2

- 1 なぜ国際機構か 2
- 2 なぜ国家は国際機構をつくったか 5
- 3 国連システム——国際機構のネットワークとは何か 12
- 4 国際機構とはどのような団体か 15
- 5 本書で学ぶこと 16

コラム 1：カントの平和思想と国際連盟 11

## 第 2 章 組織としての国際機構 19

- 1 国際機構にはどのような形態があるか 19
- 2 国際機構はどのような種類に分けられるか 21
- 3 国際機構の内部機関とは何か 24
- 4 国際機構へ参加するにはどうすればよいか 29

コラム 2：ILO とドラマ『ダンダリン』 23

## 第 3 章 国際公務員 35

- 1 国際公務員はどのようにして現れてきたか 35
- 2 国際公務員の法的地位とはどのようなものか 39
- 3 国際公務員法はどのように発展してきたか 42
- 4 国際公務員の具体像——国連事務局と国連職員 46

コラム 3：国連事務総長の任命と解任 48

## 第 4 章 国際機構の財政 51

- 1 国際機構の財政にはいかなる重要性・政治性があるか 51

|   |                     |    |
|---|---------------------|----|
| 2 | 国際機構の財政収入とはどのようなものか | 53 |
| 3 | 国際機構の財政支出とはどのようなものか | 59 |
| 4 | 国際機構の財政上の課題とは何か     | 65 |

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| コラム 4 : 国連の 2 つの主要予算分担金における分担率の比較 | 54 |
|-----------------------------------|----|

## 第 5 章 国際機構の意思決定 68

|   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 国際機構の意思決定はどのようなしくみか         | 68 |
| 2 | 意思決定は、国際機構の機能や活動にどのように作用するか | 75 |
| 3 | 意思決定における課題とは何か              | 78 |

|                   |    |
|-------------------|----|
| コラム 5 : オブザーバーの地位 | 70 |
|-------------------|----|

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| コラム 6 : サウジアラビアが安保理の非常任理事国選出を辞退 | 79 |
|---------------------------------|----|

---

## 第 2 部 国境を越えた共通問題への共同処理

---

## 第 6 章 安全保障・軍縮 82

|   |                                  |    |
|---|----------------------------------|----|
| 1 | 国連の集団安全保障とは何か                    | 82 |
| 2 | PKO とは何か                         | 86 |
| 3 | 平和構築とは何か                         | 90 |
| 4 | 軍縮・軍備管理の分野において国際機構はどのような活動をしているか | 91 |
| 5 | 地域的国際機構は安全保障・軍縮分野でどのような取組みをしているか | 94 |

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| コラム 7 : 国連によるスポーツ制裁とドラガン・ストイコビッチ | 84 |
|----------------------------------|----|

## 第 7 章 人権・人道 99

|   |                              |     |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 日本の人権問題は国際的にみてどう考えられるか       | 99  |
| 2 | 国連による人権の保護・促進はどのようなものか       | 100 |
| 3 | 地域的国際機構も人権の保護・促進を行っているか      | 107 |
| 4 | 国際労働機関の活動はどのようなものか           | 107 |
| 5 | 国連難民高等弁務官事務所はどのように難民を保護しているか | 109 |
| 6 | 国際刑事裁判所とはどのようなものか            | 113 |
| 7 | 国際機構が人権を扱うことの意義とは何か          | 116 |

## 第8章 経済・貿易・通貨・開発 118

- 1 国際経済は私たちの日常生活とどのようにつながっているか 118
- 2 国際経済において国際機構は影響力をもっているか 120
- 3 国際社会での「自由貿易」はどうなっているか 122
- 4 通貨の安定に国際機構は有効か 125
- 5 開発における国際機構の役割とは何か 127
- 6 これから国際機構にはどのような役割が期待されているか 132
  - コラム8：WTOにおける紛争解決の具体例 123
  - コラム9：「リーマン・ショック」と国際機構の存在意義 126

## 第9章 文化・知的協力 134

- 1 平和のための知的国際協力はどのように誕生・展開したか 134
- 2 国連教育科学文化機関とその活動とはどのようなものか 137
- 3 文化のグローバル化は国際機構での交渉にどのように影響したか 139
- 4 国連教育科学文化機関において文化的諸価値はどのように実現されてきたか 144
- 5 文化・知的協力において国際機構はどのような意義を有するか 149
  - コラム10：危機に瀕している世界の諸言語 140

## 第10章 環 境 152

- 1 環境問題の特徴とは何か 152
- 2 国連人間環境会議の前はどうであったか 153
- 3 国連によって開催された環境会議にはどのようなものがあるか 154
- 4 環境関連の国連システム諸機関にはどのようなものがあるか 159
- 5 地球規模問題に対して国際機構はどのような役割を果たせるか 168
  - コラム11：COP / MOP 167

## 第11章 運輸・通信 171

- 1 国際標準化とは何か 171
- 2 国際標準化はどのように使われるか 174
- 3 国際標準化は内容（コンテンツ）にも及ぶか 180
  - コラム12：インターネット・ガバナンスと国際機構の取組み 182

## 第12章 保健衛生 187

- 1 なぜ保健衛生のために国際機構が必要になったか 187
- 2 保健衛生分野ではどのような国際機構が活躍しているか 188
- 3 保健衛生にはどのような活動分野があるか 192
- 4 グローバルヘルスとは何か 201
  - コラム13：エボラ出血熱 193
  - コラム14：たばこ規制枠組条約 200

## 第13章 紛争解決 203

- 1 紛争を平和的に解決するとはどのようなことか 203
- 2 裁判以外の方法でも紛争は解決されるか 205
- 3 裁判を通じての紛争の解決にはどのような特徴があるか 209
- 4 国際社会における紛争解決の意義とは何か 214
  - コラム15：日本とWTO 208
  - コラム16：国際司法裁判所における法律上の紛争の解決 211

## 第14章 国際機構のパートナー——NGO・企業・市民社会・個人 216

- 1 新しい「スーパーパワー」とは何か——市民社会の出現 216
- 2 近代的な「国際社会」の成立とそのアクターとは何か 217
- 3 国連はなぜ民間団体を重視したか 221
- 4 国際機構による民間企業への支援はなぜ拡大してきたか 224
- 5 グローバル社会で国際機構はどうなってゆくか  
——これからの国際機構と非国家主体 227
  - コラム17：国際赤十字 219
  - コラム18：国連グローバル・コンパクト（UNGC） 226

## 終章 国際機構と日本 228

- 1 国際機構と日本の関係はいつから、どのように始まったか 228
- 2 日本の国際機構外交はどのような展開をみせてきたか 230
- 3 国際機構を生かすために日本が果たすべき役割とは何か 236

あとがき

### 【巻末資料】

国連システム機構図、国連 PKO の展開状況、主要な地域的国際機構

### 【さらに学びたい人へ】

### 【索 引】